

広い世界で学び、 キャリアを重ねた経験を、 グローバル教育に活かす。

愛知淑徳での日々を経て、 広い世界へ羽ばたく。

愛知淑徳高校での3年間、最も力を入れたのが、ギターマンドリン部の活動です。私はマンドラという楽器を担当し、全国大会や定期演奏会などを目標に仲間と練習に励みました。夏休みには淑友館で合宿し、朝から晩まで演奏したことも良い思い出です。なにより生涯の友人に巡り会えたことが、部活動を通して得られた一番の宝物だと感じています。今、振り返ると高校生活は「楽しかった!」という一言に尽きません。自分がやると決めたことをやり抜く力も鍛えられ、それが現在までの私の底力になっていると思っています。

高校卒業後、立命館大学理工学部機械工学科に進学したのは、当時、航空機に興味があったからです。好きだった数学を活かして

学べることも魅力でした。大学卒業後は、これからのグローバル時代に通用する英語力を磨くためアメリカへ語学留学に行きました。英語は苦手でしたが「なんとかする!」と前向きな気持ちで新しい世界に飛び込みました。さらにイギリスの大学院に進み、国際色豊かな仲間と共に学修・研究に熱中しました。博士号を取得後、イギリスの日系企業に就職し、工場の生産設備に関する技術営業としてヨーロッパ各国を飛びまわりました。気がつくや海外生活も10年になり、前よりも強くなった自分を実感しました。

自分の経験を活かし、 学生の挑戦を支えたい。

帰国後、大阪大学工学研究科助教を経て、縁あって母校・立命館大学の教員となる道に進みました。2018年、情報理工学

部に准教授として着任し、グローバル教育に携わっています。理系学生のための英語教育科目や海外留学科目を担当し、自分の経験を交えて海外で学ぶ魅力を伝えています。留学に挑戦したことで、人生の可能性が大きく開かれました。これからの時代を担う学生たちにも視野を広く持つてチャレンジしてほしいと願い、今後もグローバル教育に貢献していきたいと考えています。

愛知淑徳で学ぶ生徒・学生の皆さんに伝えたいことは、「新しい一歩をどんどん踏み出そう!」というメッセージです。失敗してもやりなおせるのだから、若いうちにやりたいこと、好きなことに挑戦してほしいと思います。愛知淑徳には皆さんの一歩を後押しする素晴らしい先生方や学修環境が揃っていますから、臆せず行動を起こしてみてください。応援しています。



立命館大学の前は大阪大学に勤務。当時から海外研修の事前・事後研修や引率などを行い、グローバル教育に力を注ぎました。



ギターマンドリン部では、外部から指導者の方を招き、部員みんなが心をひとつにして練習に打ち込んでいました。

立命館大学 情報理工学部
准教授

市村 真希さん

愛知淑徳高等学校を1997年3月に卒業。立命館大学理工学部を卒業後、アメリカに語学留学。イギリスの大学院で博士号を取得し、日系企業での勤務を経て帰国。現在は立命館大学情報理工学部准教授として理工系学生のグローバル教育に尽力。